

琉球インタラクティブ、地域貢献型私募債を活用して宜野湾市に寄付金を寄贈



沖縄発のインターネットベンチャーである琉球インタラクティブ株式会社（本社：沖縄県宜野湾市、代表取締役社長：臼井隆秀、以下「琉球インタラクティブ」）は、株式会社琉球銀行（本社：沖縄県那覇市、取締役頭取：川上 康）が取り扱う「りゅうぎん地方創生応援私募債」により宜野湾市へ寄付金を寄贈。[2019年7月5日（金）](#)に、私募債発行記念の寄付金寄贈式が開催されました。

琉球インタラクティブは、[2012年9月](#)

に宜野湾市の情報産業振興施設「宜野湾ベイサイド情報センター（Gwave）」に本社を移転。以来、マーケティング、クリエイティブ、テクノロジーの3つの強みで事業を拡大し、ここ宜野湾市で急成長を続けてきました。[2013年4月](#)

からはGwaveの指定管理者にも認定いただき、同施設内でのライブラリーカフェ“Gwave Cafe”の運営や沖縄初の本格的シェアオフィス“Gwave Incubate”における起業家支援など、宜野湾市のみならず沖縄のスタートアップシーンを常にリードしています。

この度の寄贈により、事業を通じて微力ながら地元・宜野湾市へ貢献ができたこと嬉しく思います。また、今後もビジョンに掲げる「日本を代表するインターネット企業になる」の実現に向けて、これまで以上に果敢に挑戦し事業を発展させてまいります。

■寄付金寄贈式について

寄贈者 琉球インタラクティブ株式会社（寄贈先指定）

株式会社琉球銀行（寄贈者）

受贈者 宜野湾市

開催日時 [2019年7月5日（金）](#) 14時

場所 宜野湾市役所

出席者 松川 正則（宜野湾市長：写真中央）

臼井 隆秀（琉球インタラクティブ代表取締役社長：写真右）

仲本 五月（琉球銀行大謝名支店長：写真左）

寄付金額 30万円

■りゅうぎん地方創生応援私募債について

「りゅうぎん地方創生応援私募債」とは、私募債を発行する際に、琉球銀行が発行企業から受け

取る手数料の一部を、発行企業と琉球銀行で協議の上、沖縄県の学校、教育文化施設または、伝統文化、環境保全、観光推進等の地域貢献、地方創生を目的に設立された団体へ寄付する仕組みです。

■琉球インタラクティブについて

琉球インタラクティブ株式会社は、沖縄発のインターネットベンチャー企業です。「日本を代表するインターネット企業になる」をビジョンに掲げ、マーケティング、クリエイティブ、テクノロジーの3つの強みを活かすことで、インターネットサービス事業や次世代人材育成事業をはじめ、積極的に新規事業を創造し、幅広い分野で事業展開を行っています。

代表取締役社長 臼井 隆秀

所在地 [沖縄県宜野湾市大山3丁目11-32](#)

設立年月日 [2009年2月5日](#)

URL <https://www.ryukyu-i.co.jp/>

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>